

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期安堵町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県生駒郡安堵町

3 地域再生計画の区域

奈良県生駒郡安堵町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、平成7年（1995年）国勢調査の結果（以下、人口数値は、国勢調査による。）で8,941人をピークに減少に転じ、令和2年（2020年）国勢調査の結果では7,225人、令和6年（2023年）における住民基本台帳によると7,008人となっており、人口減少に歯止めが効かない状態になっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和22年（2040年）には5,400人程度まで減少（31.8%減）するものと見込まれ、持続可能な行政運営のためにも人口減少問題への対策が急務となっている。

この原因として、大阪府や東京・首都圏などの都市部への人口流出の過多による社会減と、死亡数が出生数を上回る自然減の相乗効果により、人口減少が加速する状況となっている（自然減及び社会減の詳細については後述のとおり。）。

年齢別にみると、年少人口のピークは平成2年（1990年）の1,759人で、総人口のピークである平成7年（1995年）には1,577人と減少に転じており、平成27年（2015年）には701人とピーク時の60.1%減となっている。令和2年（2020年）には、652人となっており令和22年（2040年）には315人（82.1%減）になると推測されている。

また、生産年齢人口については、総人口のピークの平成7年（1995年）に6,240人とピークを迎えるが、平成27年（2015年）には28.4%減の4,470人まで減少し、令和2年（2020年）には、4,020人となっており、令和22年（2040年）には2,241人（64.1%減）になると推測されている。

一方で、高齢人口については、平成7年（1995年）以前からも増加しており1,124

人で、その後数年で年少者人口を超え、さらに増加し、平成 27 年（2015 年）には 2,272 人と総人口のピーク時から 102.1%の増となっている。令和 2 年（2020 年）には、2,553 人となっており、令和 7 年（2025 年）にピークを迎え、その後減少に転じるとともに、令和 22 年（2040 年）には生産年齢人口を超え、2,297 人となり、総人口の過半数を占めることが推測されている。

自然増減については、平成元年（1989 年）から平成 9 年（1997 年）までは出生が死亡を上回る「自然増」の状態が続いていたが、平成 18 年（2006 年）を境に、死亡が出生を上回る「自然減」の状態が続き、令和元年（2019 年）は 35 人であったが、令和 6 年（2024 年）には 84 人の自然減となった。なお、合計特殊出生率については、平成 24 年（2012 年）に 1.43 と一時的に上昇したが、翌年には 1.10 へ低下し、平成 29 年（2017 年）には 1.14 となった。奈良県、全国と比べてもかなり低く、長期的に人口を維持できる水準（人口置換水準）とされている 2.08 を大きく下回っている。

また、社会増減については、平成 24 年（2012 年）までは社会減で推移していたが、平成 25 年（2013 年）に社会増 7 人、平成 26 年（2014 年）に社会増 9 人となった。令和元年（2019 年）においては、19 人の社会減となっている。

これらの人口減少と少子高齢化は、消費市場の規模縮小だけではなく、雇用の場での人材不足や景気の低迷など地域の経済力の低下をもたらすとともに福祉制度や医療体制に対する不安や現役世代への負担増など地域間、世代間の不公平を生じさせている。

日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計でも本町は「消滅可能性がある」自治体のひとつと予想されており、人口減少問題など地域課題を解決して一層発展していくために、地方創生の方針を踏まえ、新たなまちづくりに踏み出していく必要がある。

これらの課題を解決し、人口減少の克服と地域を元気にするため、「このまちで生きる」と「このまちを活かす」という 2 つの未来に向けた視点と「みんなが笑顔になれる安堵」「安全・安心に暮らせる安堵」「地域の魅力で人がつながる安堵」「明日を担う人・組織が育つ安堵」の 4 つの基本理念を踏まえ、「ひと・まちが輝き 生涯快適に暮らせるまち」を目標に、快適で安らぎのある住空間と人々の交流や産業による活力のあるまちづくりを目指す。

なお、取組に当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

基本目標 1 明日にはばたく”ひと”創造戦略

基本目標 2 魅力ある”まち”創造戦略

基本目標 3 活気ある”しごと”創造戦略

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	子育て支援が「満足」「やや満足」の住民の割合の満足度	11.9%	20%	基本目標 1
ア	「住民や事業所と共に進める教育」が「十分」「まあまあ十分」と回答した子育て家庭の割合	34%	40%	基本目標 1
ア	乳幼児健診の受診率（4カ月健診）	100%	100%	基本目標 1
ア	妊娠・出産・育児の相談件数	127人	127人	基本目標 1
ア	乳児・妊産婦訪問の実施率	100%	100%	基本目標 1
ア	子育て広場あかりの年間延べ登録者数	21人	40人	基本目標 1
ア	子育てサポーター数	0人	5人	基本目標 1
ア	全国学力テストの平均正答率の県平均との差	▲3.2P	0P	基本目標 1
ア	体力テストの県平均を下回る種目数（全8種目）	4種目	0種目	基本目標 1
ア	社会教育登録クラブ数	18団体	18団体	基本目標 1

ア	生涯学習講座数	5 講座	5 講座	基本目標 1
ア	図書室利用登録率	43.5%	50%	基本目標 1
ア	文化祭、展示会などでの 出品数	294点	300点	基本目標 1
ア	歴史民俗資料館年間利用 団体数	4 団体	6 団体	基本目標 1
ア	町指定文化財数	8 件	12件	基本目標 1
イ	「安堵町は住み良い」と 回答した住民の割合	53.4%	60%	基本目標 2
イ	「自宅の隣近所で、お互 い助けあえる仕組みがで きている」と回答した住 民の割合	46%	55%	基本目標 2
イ	65歳時の健康寿命	男：18.20年 女：21.36年	男：19.01年 女：21.52年	基本目標 2
イ	公共交通が「不満」「やや 不満」の住民の割合	53%	40%	基本目標 2
イ	社会増減（転入者数－転 出者数）の年間増加数	3 人	10人	基本目標 2
イ	社会福祉協議会ボランテ ィア登録者数	451人	500人	基本目標 2
イ	ふれあいいきいきサロンの 年間延べ実施回数	86回	130回	基本目標 2
イ	こども食堂の年間開催回 数	24回	24回	基本目標 2
イ	成年後見制度利用支援事業 の利用人数	2 人	5 人	基本目標 2
イ	「第一層協議体」の年間 開催回数	1 回	6 回	基本目標 2

イ	いきいき百歳体操の年間 参加延べ人数	237人	250人	基本目標 2
イ	運動普及ボランティアの 人数	11人	15人	基本目標 2
イ	食生活改善推進員の人数	15人	20人	基本目標 2
イ	環境美化事業に対する年 間助成件数	0 人	12人	基本目標 2
イ	コミュニティバスの年間 延べ利用者数	12,674人	20,000人	基本目標 2
イ	住宅耐震診断実施件数	1 件	5 件	基本目標 2
イ	住宅耐震改修実施件数	1 件	5 件	基本目標 2
イ	自主防災組織結成地区数	0 地区	12地区	基本目標 2
イ	町内防災士資格者数	4 人	10人	基本目標 2
イ	災害時における市町村相 互応援に関する協定の締 結数	3 件	5 件	基本目標 2
イ	災害時における物資の供 給に関する協定の締結数	7 件	10件	基本目標 2
イ	年間犯罪発生件数	23件	15件	基本目標 2
イ	自治会加入率	90.4%	95%	基本目標 2
イ	各種団体事業補助金交付 団体数	0 団体	12団体	基本目標 2
イ	ふるさと納税の件数	114件	150件	基本目標 2
イ	町ホームページの年間閲 覧件数（トップページビ ュー数）	39万	45万	基本目標 2
ウ	農業振興が「不満」「や や不満」の住民の割合	9.9%	8.9%	基本目標 3
ウ	工業振興が「不満」「や や不満」の住民の割合	16.0%	15.0%	基本目標 3

	や不満」の住民の割合			
ウ	商業振興が「不満」「や や不満」の住民の割合	43.6%	39.2%	基本目標 3
ウ	認定農業者数	9 人	9 人	基本目標 3
ウ	学校給食への地元農産物 提供品種数	11人	11人	基本目標 3
ウ	新規特産品の選定、作付、 出荷数	-	1 人	基本目標 3
ウ	企業立地件数	1 件	5 年間で10件	基本目標 3
ウ	ふるさと納税の返礼品と して取り扱う地場産品の 品目数	24品	30品	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期安堵町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 明日にはばたく”ひと”創造戦略事業

イ 魅力ある”まち”創造戦略事業

ウ 活気ある”しごと”創造戦略事業

② 事業の内容

ア 明日にはばたく”ひと”創造戦略事業

・地域とともに育つまちづくりの推進事業

・歴史・文化・芸術を愛するひとづくりの推進事業

【具体的な事業】

- ・ 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の推進
- ・ 幅広い生涯学習活動の促進 等

イ 魅力ある”まち”創造戦略事業

- ・ 支え合う健康福祉のまちづくりの推進事業
- ・ 安全・快適に生活できるまちづくりの推進事業
- ・ 協働のまちづくりの推進事業

【具体的な事業】

- ・ 地域共生社会づくりの推進
- ・ 災害予防対策の推進
- ・ 地域コミュニティの組織力の強化 等

ウ 活気ある”しごと”創造戦略事業

- ・ 小さくてもキラリと光る経営体の創生事業

【具体的な事業】

- ・ 農地の保全と営農体制の強化
- ・ 地域資源を生かした産業振興 等

※なお、詳細は第2期安堵町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000 千円（2025 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年6月頃に進捗を把握し、その後外部有識者から成る安堵町総合戦略事業評価委員会による効果検証を行う。検証後、町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで